

第12回 全国カトリックスカウト キャンポリー (第5回カトリックスカウト 国際キャンポリー)

実施要項 (案)

2020年10月2日



テーマ：**さあ、沖へ漕ぎ出そう**

サブテーマ：**—スカウトのみちを—**

期間 2021年8月6日(金)～10日(火)

場所 国立淡路青少年交流の家(兵庫県南あわじ市)

主催 日本カトリックスカウト協議会(JCCS)

※本書は実施要項(案)であり、アンケート結果や状況によりプログラム等内容を変更する場合があります。

1. あいさつ

第12回 JCCS キャンボリーに参加を 日本カトリックスカウト協議会 会長 津守勝男

第12回 JCCS キャンボリーが兵庫県淡路島で開催されます。今、新型コロナウイルス感染症に応じた新しい生活様式が求められています。そして世界も、日本もスカウト運動のあり方が問われています。「自分のカヌーは自分で漕げ」、B-Pは自分の望む港に向かって、前を向き、暗礁を乗り越え、人生という航海を進め、と言っています。私たちは同じ目的、同じ考え方のもとに集まり、困難を乗り越え、スカウトのみちを進みましょう。全国のカトリックスカウト団が一致団結し、沖へ漕ぎ出す時です。どうぞこの第12回キャンボリーにぜひ参加し協力をお願いします



2. 大会テーマ

さあ、沖へ漕ぎ出そう –スカウトのみちを–

大阪大司教区の前田枢機卿の紋章には「お言葉ですから、網を降ろしてみましよう」のイメージがあしられ、信仰、希望、愛による不思議な大漁のように、キリストの平和が実現できますようにとの祈りが込められています。

今回の大会は海の近くの会場で、まさに海へ漕ぎ出すイメージに一致した場所です。今回の大会を経て、神様のお導きで集えた仲間たちと共に、それぞれがスカウティングの新しい海へ漕ぎ出しましょう。

一人では進めないみち（航路）も仲間と一緒に進めます。そのため、今回の大会を通して漕ぎ出す仲間をいっぱい作ってください。



大阪大司教区 Web より

3. 開催期間 2021年（令和3年）8月6日（金）～10日（火）4泊5日
（本部スタッフは8月5日（木）13時全体集合）

新型コロナウイルスの感染状況、各県連の方針によっては中止、もしくは期間の短縮を行う場合があります。実行委員会での実施の可否についての検討状況は随時、キャンボリー通信などでお知らせをしていきます。

4. 会 場 国立淡路青少年交流の家
住所：兵庫県南あわじ市阿万塩屋町 757-39

募集の規模 野営約 450 名、舎営約 500 名、海外(リモート)

大会会場が海外からの帰国者の一時滞在施設として使われる可能性があります。動線は完全に分離されます。

⇒「6. 本大会の特徴、宿泊と食事」を参照してください。

なお、大会期間中に新型コロナウイルスへの感染可能性のある参加者が出た場合、現時点（2020年9月）での交流の家の方針として、大会の即時中止を求められる可能性があります。

⇒「8. 安全管理および新型コロナウイルス感染対策」参照

5. 参 加 費

4泊5日分として、スカウト、指導者ともに **20,000 円/人**を予定しています。舎営、野営の区別はありません。

往復の交通費、備品の輸送費は参加団でのご負担となります。

また、選択プログラムによっては別途、経費が発生します。

* JR 新神戸駅～国立淡路青少年交流の家については、実行委員会での貸切バスの用意を検討しています（有料です！）。

6. 本大会の特徴

今回の大会は大阪教会管区（大阪大司教区、名古屋教区、京都教区、広島教区、高松教区で構成）が中心となって進め、東京大司教区、横浜教区がサポートする大会です。そのようなことから、JCCS が一体となって進める大会といえます。

17NSJに続き、またカトリックスカウトの大会としては初の海の近くの会場となります。開催地の淡路島は、東には大阪湾、西には播磨灘が広がり、山あり、海あり、食の幸ありとスカウトのキャンプ、舎営にはとても良いところです。また、日本の神話では、淡路島は最初に創造された島とされており、歴史も大変興味深いところです。

さあ、日本中から海を渡って淡路島に集合しましょう。

○国立淡路青少年交流の家

鳴門海峡に面した淡路島の最南端に位置し、会場の眼前には青い海と白い砂浜（吹上浜）が広がっています。昭和44年の開設ですが宿舎は清潔で、食堂からは吹上浜を一望できます。また野営地は松林に囲まれ、海辺のキャンプを満喫できます。

○国際大会

JCCS が 1999 年に ICCS（国際カトリックスカウト協議会）に加盟してから 5 回目の国際大会ですが、現時点では来日は困難です。ですが、繋がりを続けたいので、主要行事へのリモート参加を検討しています。

○参加形態

団・隊単位での参加を原則とします。団・隊キャンプの集合体と考えるください。

*他団と合同で参加する、現地でのプログラム展開を他団と合同で行っていただいても結構です。そのような場合は、後日行われる本申込みの際にお知らせください。

○プログラム

全体プログラム（開会式・主日ミサ・閉会式等）を計画しています。それ以外は各参加団体でプログラムを進めていただきます。なお、参加団体が任意で参加可能な開催地のロケーションを考慮した選択プログラム（場内、場外）を用意する予定です。

*国立淡路青少年交流の家の眼前に広がる「吹上浜」は遊泳禁止エリアとなっています（交流の家のルールで足を入れることも避けてください）。海に入るプログラムを検討される場合は、会場から徒歩約15分の「阿万海水浴場」の利用をお願いします。

大会期間を通した交流プログラム（リボン交換）を用意します。是非、参加して、沖へ漕ぎ出す仲間をいっぱい作ってください。

今回の大会でも、巡礼プログラム（徳島）を計画しています（定員制）。

⇒「9. プログラム概要（案）と選択プログラム（案）」を参照



阿万海水浴場

○宿泊と食事

B S以上のボーイスカウト、Jr以上のガールスカウトは野営（野外炊事を含む）を原則とします。

ボーイスカウトのC S、ガールスカウトのB r、ユースセンター及び本部要員は舎営で、食事は食堂を利用します。しかし、新型コロナウイルス感染予防を踏まえ、宿舎や食堂利用に一定の制限が掛かることが想定されますので、舎営でも一部の方には寝袋、マットをご用意いただく、食事はお弁当になることが想定されます。

○宗教章

B Sは宗教章・信仰奨励章を、G Sはカトリックスカウトバッジを取得することを奨励します。本大会の主日ミサの中で授与していただけることをお勧めします。

7. 参加資格

参加資格は以下の条件を満たしていること。

- ・ ICCS 又は ICCG に加盟する外国スカウト。
- ・ ボーイスカウト日本連盟またはガールスカウト日本連盟に登録されているスカウト及び指導者。
- ・ スカウトは隊長、団委員長、保護者の参加承認を受けていること。
- ・ ボーイスカウトは CS 以上、ガールスカウトは Br 以上とする。
- ・ その他、大会長が承認した者。

8. 安全管理および新型コロナウイルス感染対策

(1) 安全・衛生管理

安全・衛生管理は各参加団で実施することを原則として頂きますが、救護の万全を期するため本部に救護所を開設し、急患に備えて救急車輛を用意します。

各部門と各参加団に安全管理者を置いていただき、大会本部の統括安全管理者から安全に関する助言と勧告を行わせて頂きます。万一不測の事態が起きた場合の保障は傷害保険の範囲とさせていただきます。

(2) 新型コロナウイルス感染防止

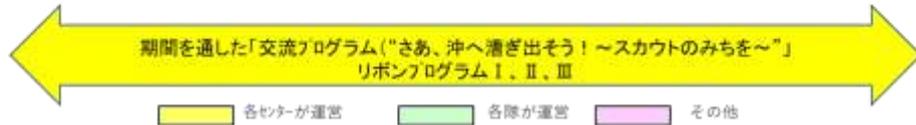
- ① 連盟や自治体の感染防止ガイドラインを遵守します。
- ② 文科省などの修学旅行での感染防止ガイドラインも参考にします。
- ③ 国立淡路青少年交流の家の感染防止対策やガイドラインを遵守します。
- ④ 今大会では安全救護センターを設け、安全・衛生管理、救護所、感染防止対策等について大会全体を支援します。

9. プログラム概要（案）と選択プログラム（案）

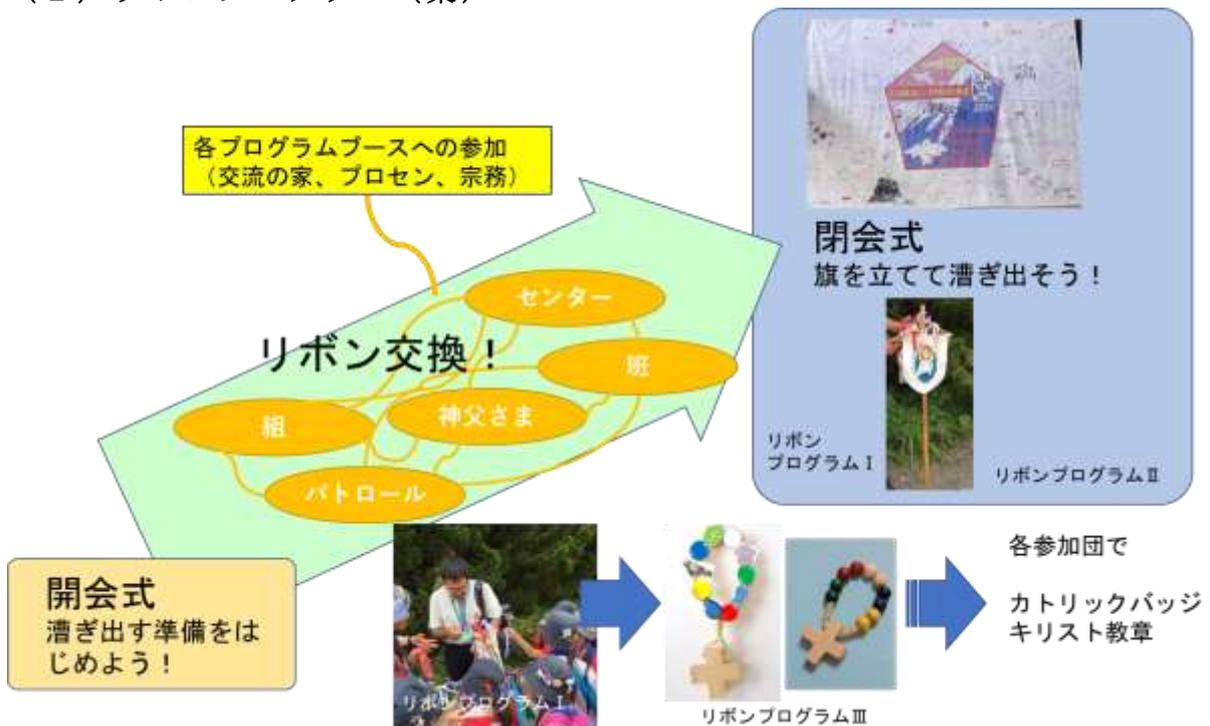
新しい行動様式を取り入れつつ、詳細は今後、詰めていきます。

(1) プログラム概要（案）

	8/5 (木)	8/6 (金)	8/7 (土)	8/8 (日)		8/9 (月)		8/10 (火)
				各隊ﾌﾟﾛ	各セﾝﾀｰ-提供ﾌﾟﾛ	各隊ﾌﾟﾛ	各セﾝﾀｰ-提供ﾌﾟﾛ	
朝 6:00-9:00	6:00 アンジェラスの祈り/国旗・JCCS旗掲揚/配給							
		06:30 朝の祈り	06:30 朝ミサ			06:30 朝ミサ		06:30 朝ミサ
		朝食						
午前 9:00-12:00	実行委員 入場	入場・利 エントナシ	9:30-11:30 交流会	9:00-10:30 全体ミサ		各隊ﾌﾟﾛ	選択ﾌﾟﾛ	進礼ﾌﾟﾛ
昼 12:00-13:00		配給/昼食						
午後 13:00- 16:00	ユース隊 集合 会場設営	設営 ・探索	13:30-15:30 フェスティバル(屋 台村形式)	各隊ﾌﾟﾛ	選択ﾌﾟﾛ	各隊ﾌﾟﾛ	選択ﾌﾟﾛ	各セﾝﾀｰ-撤収
16:00-19:00	配給/代表者会議/国旗・JCCS旗降納/アンジェラスの祈り/夕食/入浴							
夜 19:00-21:00		19:30- 20:30 開会式		19:30-20:30 ファイヤー (2~3箇所)	19:30-20:30 閉会式			
21:30	大会運営会議/セナー会議							



(2) リボンプログラム（案）



参加団は交換用のオリジナルリボンをいっぱい作って持参してください。

(3) 選択プログラム (案)

1) 常設ブース

- カトリックスカウトアーカイブ ーあの時の自分に会えるかも？ー
(過去の大会のスライドショー、グッズや資料の展示)
- 団、教会紹介コーナー (「交流プログラム」とリンクさせる)
- オリジナル缶バッジづくり (「交流プログラム」とリンクさせる)
- お手紙プロジェクト
(JCCS オリジナルハガキ、スタンプを用意して、お手紙コーナー)
- お祈り塗り絵カード (ごミサで奉納)

2) 選択プログラム

【場外】

- カッター研修 (交流の家：小5以上、3時間)
(南あわじ市南淡 B&G 海洋センター：CS, Br、半日)
- 地域探求ウォークラリー (6km：3時間)
- 謎解きハイキング (8km：3時間)
- ウミホテル観察 (@阿万海水浴場：2時間)
- 大塚美術館・大鳴門橋遊歩道渦の道方面へのハイキング (実行委員会で準備したバスで移動していただきます。実費が掛かります)
- 巡礼プログラム (貸切バスで徳島県内往復。188殉教者の一人ディオゴ結城神父の故郷平島荘と捕縛地大坂峠ハイク。定員制)

【場内】

- 所内オリエンテーション (1.5時間)
- 館内オリエンテーション (1.5時間)
- グリーンサファリ (1.5時間)
- 工芸作品の製作 (半日、実費が掛かります)
*銅鐸、藍染め、お香づくり、貼り絵タイル、ミニチュアストーンなど



3) その他

吹上浜では、砂像アート、流木を使ったクラフト、ブルーサンタなどが出来ます。各参加団で工夫してみてください。

10. 会場位置図兼場外プロのバスルート案



11. 会場全体図



<https://awaji.niye.go.jp/guide-map/>

12. 大会組織 (案)

淡路キャンポリー組織案				2020.10.2
センター名	大会役務	氏名	役職・教会	所属
大会本部	名誉大会長	梅村昌弘司教	JCCS担当司教	横浜教区
	司祭団	稲川圭三神父	全国総担当司祭	東京神学院
		竹延真治神父	大阪管区担当司祭	大東教会
		他		
	大会長	津守 勝男	JCCS会長	BS北3
	副大会長	岩田 照男	JCCS副会長	BS世田谷9
		鈴木 英彦	JCCS事務局長	BS日野2
		他		
	運営本部長	片岡実	今市	BS大阪122
副運営本部長	福田浩之	鶴見	BS横浜73	
宗務センター	宗務センター長	岡田芳明	藤沢	BS藤沢16
	他			
ミサ、信仰奨励プログラム 司祭ケア(会議生活、移動等)				
ユースセンター	ユースセンター長	松井 篤史	藤沢	BS藤沢16
	他			
ユース生活・プログラム、 各センターのサポート				
プログラムセンター	プログラムセンター長	川越 健	渋谷	BS渋谷5
	他			
全体プログラム 選択、提供プログラム				
野営センター	野営センター長	小西 健二	今市	BS大阪122
	他			
野営に関すること				
舎営センター	舎営センター長	片岡 良美	今市	GS大阪65
	他			
舎営に関すること、 部屋、風呂、食堂他				
フードセンター	フードセンター長	藤山 文子	今市	GS大阪65
	他			
献立、配給、副食 食堂に関すること		水野 重俊	成城	BS世田谷14
施設・資材センター	施設・資材センター長	今井 健一	枚方	BS枚方5
	施設設営、資材調達	高橋 正勝	亀有 音響・照明関係	BS足立14
		他		
輸送センター	輸送センター長	木村 伸幸	愛徳姉妹会	BS神戸39
	人員・物資輸送 デポ倉庫、			
広報センター	広報センター長			
	他			
ニュース発行、記録 SNS発信、 記念誌等				
国際センター	国際センター長	田淵六郎	上智大学	BS千代田11
	他			
海外案内、申込、受入れ、 生活、プログラム				
渉外センター	渉外センター長	松本秀夫	渋谷	BS渋谷5
	他			
地域、行政、連盟、 カトリック関係				
安全・救護センター	安全・救護センター長	川原聡	高幡	BS日野2
	大会の安全に関わること 救護衛生管理・新型コロナ 感染防止	岩井敏恭	医師	BS高松9
		込山貴子	医師	GS東京87
他				
総務センター	総務センター長	飯盛安信	麻布	BS港5
	庶務部長	山根美知子	雪ノ下	BS鎌倉3
	他			
	会計部長	小島桂子	瀬田	GS東京63
実施要項、申込 入退場、 事務・庶務全般等 予算管理、出納、会計等	他			

13. 本部スタッフ募集 すべての部署でスタッフ募集中！

指導者を中心にローバースカウト・SCAPPの方々から本部のスタッフを、募集します。

○総務センター：

- ・庶務：受付・備品・会議開催・調整その他事務一般を担当
- ・会計：大会の会計担当

○輸送センター：人・物・車両等の移動・交通関係を担当，バス，貨物，駐車場等

○施設資材センター：大会プログラムで必要な資材調達，設備等の設営

○国際センター：外国からの参加者の募集・受付・受入れ・プログラム立案サポート等
*場合によってはリモート参加のサポート

○広報センター：大会の情報の共有の便宜を図る

これらの活動にご協力頂ける方を多数必要としています。広く募集していきます。また、会場内、海外と繋げるためのリモート環境を整えるセッションの設置を検討していますので、技術や経験をお持ちの方は是非、手を挙げてください！

○安全・救護センター：⇒医療スタッフを募集します。

- ①大会の安全管理
- ②救護・衛生を担当
- ③新型コロナ感染予防：プログラム作成段階から新しい行動様式確保のためのアドバイスを行っていきます。

○フードセンター：大会の「食」に関する全般を担当。

献立立案，食堂業者との連絡，舎営・野営センター，庶務との連携、配給等に多くの人手を早朝から必要とします。兼務でも可能です！

○宗務センター：①毎朝・主日のミサ典礼の準備を担当 典礼奉仕者も募集します。②信仰奨励章、カトリックスカウトバッジの取得支援を担当
③巡礼プログラムを担当 ④司教様，神父様等宗教関係者の管理全般。

○舎営センター：舎営するスカウト達の日常生活のサポートを担当。シーツ貸出、部屋や浴室清掃点検，食堂・浴室の利用調整などです。
⇒きめ細かいサポートを実施するために、保護者を含めて募集

○野営センター 野営管理一般のサポート。安全管理・野営場の衛生管理
⇒特にガールスカウトの指導者・保護者を募集

○プログラムセンター：①大会の全体行事の企画・運営。 ②選択プログラムの企画・展開 ⇒若手～ベテランまで幅広く指導者を募集

○ユースセンター

ローバースカウト、ベンチャースカウト、レンジヤースカウトはユースセンターに入ることができます。ユースセンターでは独自のプログラムの展開と奉仕活動を行うことを予定しています。

1 4. 会場アクセス

○淡路青少年交流の家ホームページより抜粋

淡路島全域図



お車でお越しの方



高速バスでお越しの方

『陸の港西淡』で下車ください。

各交通期間の時刻等は変更する場合がありますので、下記バス会社でご確認下さい。

大阪・神戸方面から

- 大阪あわじ線（フットバス）
- くにうみライナー（本四海峡バス）
- 三ノ宮～福良線（淡路交通・神姫バス共同運行）
- 舞子～福良線（淡路交通）
- 淡路島特急線（みなと観光バス）

四国方面から

- 淡路～徳島線（淡路交通）
- あわじうどん線（フットバス）

陸の港西淡から

- らんらんバス（すいせん号）『中西』バス停降車 徒歩 10分

*乗車時間は約30分。（2020年9月現在で、上り、下りともに1日2便です。）
<https://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/soshiki/kyoudou/ranranbusuhtml.html>

●大会本部のお勧めアクセス

- 大会本部で 新神戸駅～淡路青少年交流の家 間の送迎用貸切バスの用意を予定しています。
片道1名2500円程度で利用できるよう調整中。（事前申込要）
- 大会本部で 陸の港西淡～淡路青少年交流の家 間の送迎用シャトルカーを用意出来たらいいなあという意見がでていますが、今のところ目途は立っていません。（ご希望の団が多く、且つ車両の用意ができれば可能性があるかもしれません）